

「松江市電子図書館システム導入業務委託」プロポーザルの選考結果について

1. 案件名称

松江市電子図書館システム導入業務委託

2. 履行期間

契約締結日の翌日から令和9年3月31日

3. 選考委員による審査の結果

(1) 選考委員名簿

| NO | 役職名 | 氏名    | 所属       |
|----|-----|-------|----------|
| 1  | 委員長 | 玉木 一男 | 副教育長     |
| 2  | 委員  | 浅野 浩之 | デジタル戦略課長 |
| 3  | 委員  | 福間 祐二 | 財政課長     |
| 4  | 委員  | 福島 章洋 | 学校教育課長   |
| 5  | 委員  | 須山 敏之 | 中央図書館長   |

(2) 審査基準

一次審査

|   | 項目       | 評価内容  | 点  |
|---|----------|---|----|
| 1 | 初年度価格    | ・サービス利用料、電子書籍使用料、サポートの価格が適正となっているか<br>【計算式】(提案事業者のうち最も低い提案額) / (当該提案事業者の提案額) × 10点 ※小数点以下第1位を四捨五入 | 10 |
| 2 | 2年目以降の価格 | サービス利用料、サポートの価格が適正となっているか<br>【計算式】(提案事業者のうち最も低い提案額) / (当該提案事業者の提案額) × 30点 ※小数点以下第1位を四捨五入          | 30 |

|    |      |                  |     |
|----|------|------------------|-----|
| 3  | 機能要件 | ・機能要件、非機能要件の対応状況 | 130 |
| 合計 |      |                  | 170 |

二次審査

|   | 項目                       | 評価内容  | 配点  |
|---|--------------------------|---|-----|
| 1 | 一次審査結果                   | ・価格、機能要件  | 170 |
| 2 | 基本的な考え方                  | ・基本方針及び取り組み姿勢<br>・今後の展開についての考え方<br>・リスク管理、危機管理に対する体制や対策、考え方   | 5   |
| 3 | 業務等の実績                   | ・他の自治体において同種の業務についての実績はあるか  | 5   |
| 4 | 業務実施体制                   | ・本業務を円滑に遂行するための資格・経験を有する適切な人員体制が整っているか  | 10  |
| 5 | システムのつか<br>いやすさ          | ・利用者が蔵書検索、試し読み、予約管理などにおいて使いやすい提案であるか（アプリの有無・予約確保通知など）<br>・サイトデザインは見やすいものであるか（操作性・UI・アクセシビリティ）                     | 30  |
| 6 | 導入スケジュー<br>ル・運用・サポー<br>ト | ・業務工程表の事業計画が無理なく効率的なものであるか<br>・市側の作業負担軽減について考慮されているか<br>・職員研修等やマニュアル作成等のサポート体制について適切な内容か<br>・利用者の問い合わせ対応はどのような手法か | 20  |
| 7 | コンテンツの充<br>実度            | ・電子書籍のコンテンツ数<br>・有期限コンテンツライセンス終了後、蔵書数確保に関し、本市負担が軽減する提案があるか。   | 20  |
|   |                          | ・音声読み上げ、画面拡大による自動改行対応コンテンツ等、読書バリアフリーに資するコンテンツの対応数。  | 20  |

|     |             |   |     |
|-----|-------------|---|-----|
| 8   | 利用促進・学校での活用 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者や高齢者等の利用促進の実施や支援方法が提案されているか</li> <li>・小中学生や高校生の利用率向上に向けた提案があるか</li> <li>・小中学校や高校での有効的な活用について具体的な提案があるか</li> </ul> | 20  |
| 9   | 独自性         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少や都会と地方の経済格差が広がる中、国の動向や本市の現状と今後の図書館運営の課題を踏まえ、独自性、優位性が明確な提案となっているか。</li> </ul>                                      | 40  |
| 合 計 |             |   | 340 |

(3) 参加事業者（企画提案書提出順）

- ・ 株式会社メディアドゥ
- ・ 株式会社図書館流通センター

(4) 審査結果

第一交渉権者 株式会社メディアドゥ

| 項目               | 総得点  |
|------------------|------|
| 初年度価格            | 40   |
| 2年目以降の価格         | 120  |
| 機能要件             | 514  |
| 基本的な考え方          | 15   |
| 業務等の実績           | 16   |
| 業務実施体制           | 25   |
| システムのつかいやすさ      | 90   |
| 導入スケジュール・運用・サポート | 60   |
| コンテンツの充実度        | 58   |
|                  | 52   |
| 利用促進・学校での活用      | 56   |
| 独自性              | 135  |
| 合計               | 1181 |